



## T-W コマンド

---

- [terminal](#) (2 ページ)
- [top](#) (3 ページ)
- [traceroute \(connect local-mgmt\)](#) (4 ページ)
- [traceroute6 \(connect local-mgmt\)](#) (5 ページ)
- [up](#) (6 ページ)
- [verify platform-pack](#) (7 ページ)
- [where](#) (9 ページ)

# terminal

ターミナル ウィンドウに表示される行数および行の幅を設定するには、**terminal** コマンドを使用します。

**terminal** {**length** *lines*|**width** *characters*}

## 構文の説明

<b>length</b> <i>lines</i>	ターミナル ウィンドウに表示される行数。有効値の範囲は 0 ~ 511 です。一時停止を回避するには、0 を入力します。
<b>width</b> <i>characters</i>	ターミナル ウィンドウに表示される 1 行あたりの文字数。有効値の範囲は 24 ~ 511 文字です。

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.1(1)	コマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用して、ターミナル ウィンドウに表示される行数および 1 行あたりの文字数を設定します。

## 例

次の例は、ターミナル ウィンドウに表示される行数を 12 に設定する方法を示しています。

```
FP9300-A# terminal length 12
FP9300-A *# commit-buffer
FP9300-A#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>set cli</b>	コマンド出力行を折り返すまたは切り詰めるかどうか、テーブルヘッダーを表示するかどうか、コマンド出力テーブルのフィールドを区切るためにカンマまたはスペースを使用するかどうかを指定します。

# top

任意のモードでルート（EXEC）を入力するには、**top** コマンドを使用します。

## top

構文の説明	このコマンドには引数またはキーワードはありません。
-------	---------------------------

コマンドモード	任意のコマンドモード
---------	------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.1(1)	コマンドが追加されました。

## 例

次の例は、任意のモードでルートを入力する方法を示します。

```
FP9300-A /system/services # top
```

```
FP9300-A#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>up</b>	1つ上位のモードに移動します。

## tracert (connect local-mgmt)

ネットワーク上の別のデバイスに至るルートを、そのホスト名または IPv4 アドレスを使ってトレースするには、**tracert** コマンドを使用します。

```
tracert {hostname|IPv4_address} [source header_IP]
```

### 構文の説明

<b>hostname IPv4_address</b>	接続するネットワーク デバイスのホスト名または IP アドレス。このホスト名の長さは最大 510 文字です。
<b>source header_IP</b>	(任意) このキーワードを使用すると、パケットヘッダーに含めるデバイスの IP アドレスを指定できます。

### コマンドモード

connect local-mgmt

### コマンド履歴

リリース	変更内容
1.1(1)	コマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドを使用して、ネットワーク ホストへの IP パケットのルートを追跡します。パケットヘッダーに含まれる **source IP** アドレスを指定しない場合は、管理ポートアドレスが使用されます。

### 例

次の例は、ローカル管理 CLI に接続し、ネットワーク上の別のデバイスへのルートをトレースする方法を示しています。

```
firepower# connect local-mgmt
firepower(local-mgmt)# tracert 198.51.100.10
tracert to 198.51.100.10 (198.51.100.10), 30 hops max, 40 byte packets
 1 198.51.100.57 (198.51.100.57) 0.640 ms 0.737 ms 0.686 ms
 2 net1-gw1-13.cisco.com (198.51.100.101) 2.050 ms 2.038 ms 2.028 ms
 3 net1-sec-gw2.cisco.com (198.51.100.201) 0.540 ms 0.591 ms 0.577 ms
 4 net1-fp9300-19.cisco.com (198.51.100.108) 0.336 ms 0.267 ms 0.289 ms

firepower(local-mgmt)#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>ping</b>	指定された宛先 (IPv4 アドレス) でデバイスに ping を実行します。

## traceroute6 (connect local-mgmt)

ネットワーク上の別のデバイスに至るルートを、そのホスト名または IPv6 アドレスを使ってトレースするには、**traceroute6** コマンドを使用します。

**traceroute6** {hostname|ipv6\_address} [**source** header\_ip]

構文の説明	<i>hostname</i>   <i>ipv6_address</i> 接続するネットワーク デバイスのホスト名または IPv6 アドレス。 このホスト名の長さは最大 510 文字です。
<b>source</b> <i>header_ip</i>	(任意) このキーワードを使用すると、パケットヘッダーに含めるデバイスの IP アドレスを指定できます。

コマンドモード    connect local-mgmt

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.1(1)	コマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン**    このコマンドを使用して、ネットワーク ホストへの IP パケットのルートを追跡します。  
パケットヘッダーに含まれる **source** IP アドレスを指定しない場合は、管理ポートアドレスが使用されます。

### 例

次の例は、ローカル管理 CLI に接続し、ネットワーク上の別のデバイスへのルートをトレースする方法を示しています。

```
firepower# connect local-mgmt
firepower(local-mgmt)# traceroute 2001:DB8:1::1
traceroute to 2001:DB8:1::1 (2001:DB8:1::1), 30 hops max, 40 byte packets
 1 2001:DB8:1::4 (2001:DB8:1::4) 0.640 ms 0.737 ms 0.686 ms
 2 net1-gw1-13.cisco.com (2001:DB8:1::6) 2.050 ms 2.038 ms 2.028 ms
 3 net1-sec-gw2.cisco.com (2001:DB8:1::8) 0.540 ms 0.591 ms 0.577 ms
 4 net1-fp9300-19.cisco.com (2001:DB8:1::7) 0.336 ms 0.267 ms 0.289 ms

firepower(local-mgmt)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>ping6</b>	指定された宛先 (IPv6 アドレス) でデバイスに ping を実行します。

# up

コマンドモード階層で1つ上位のレベルに移動するには、**up** コマンドを使用します。

## up

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### コマンドモード

任意のコマンドモード

### コマンド履歴

リリース

変更内容

1.1(1)

コマンドが追加されました。

### 例

次の例は、1つ上位のモードに移動する方法を示します。

```
FP9300-A /org/service-profile # up
FP9300-A /org #
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>exit</b>	現在のCLIセッションを終了し、デバイスから切断するか、または接続されたオブジェクトモードを終了し、ルート (EXEC) レベルに戻ります。
<b>top</b>	任意のモードからルート (EXEC) を開始します。

# verify platform-pack

ダウンロードした FXOS プラットフォーム バンドルの整合性を手動で確認するには、**verify platform-pack** コマンドを使用します。

**verify platform-pack version version\_number**

構文の説明	<b>version version_number</b> 検証するプラットフォームパッケージのバージョン番号を指定します。				
コマンドモード	ファームウェア モード				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.1(1)</td> <td>コマンドが追加されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	1.1(1)	コマンドが追加されました。
リリース	変更内容				
1.1(1)	コマンドが追加されました。				

**使用上のガイドライン** イメージの整合性は、新しいイメージが Firepower4100/9300 シャーシにダウンロードされたときに自動的に確認されます。ダウンロードしたイメージの整合性を後で手動で確認するには、このコマンドを使用します。

**show validate-task** または **show validation package** コマンドを使用すると、目的のパッケージバージョン番号を指定できます。

また、**show validate-task** コマンドを使用すると、検証プロセスをモニタすることもできます。出力表示は自動的に更新されないため、何度もコマンドを入力する必要があります。

## 例

次の例は、特定のプラットフォーム パッケージを確認する方法を示しています。

```
FP9300-A# scope firmware
FP9300-A /firmware # show validation package
Firmware Package 2.2(2.19):
  Validation Time Stamp: 2017-10-26T14:34:24.925
  Pack Name: fxos-k9.2.2.2.19.SPA
  Validation State: None
  Overall Status Code: Ok

Firmware Package 2.3(1.51):
  Validation Time Stamp: 2017-10-25T16:53:30.914
  Pack Name: fxos-k9.2.3.1.51.SPA
  Validation State: None
  Overall Status Code: Ok
FP9300-A /firmware # verify platform-pack version 2.3(1.51)
The currently installed FXOS platform software package is 2.3(1.51)
All the Security Modules will be installed with these software components:
  Security Module Adapter  4.0(1.67)
  Security Module BIOS     FXOSSM2.1.3.1.13.0927171811
  Security Module FXOS     2.3(1.50)

INFO: There is no service impact to install this FXOS platform software 2.3(1.51)
```

```
Verifying FXOS platform software package 2.3(1.51). Verification could take several
minutes.
Do you want to proceed? (yes/no) [yes]:
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>download image</b>	Firepower 4100/9300 シャーシに FXOS ソフトウェア イメージをダウンロードします。
	<b>show validate-task</b>	イメージ検証プロセスのステータスを表示します。



# where

現在の CLI コマンド階層を判断するには、**where** コマンドを使用します。

## where

構文の説明	このコマンドには引数またはキーワードはありません。	
コマンドモード	任意のコマンドモード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.1(1)	コマンドが追加されました。

## 例

次の例は、現在の CLI を判断する方法を示します。

```
FP9300-A /org/service-profile # where
Mode: /org/service-profile
Mode Data:
  scope org
  enter org org10
  enter service-profile sp10 instance
FP9300-A /org/service-profile #
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>top</b>	任意のモードからトップ (EXEC) レベルに移動します。
	<b>up</b>	1つ上位のモードに移動します。

where

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。